

# 政策4

## 活力みなぎる産業のまちを 目指します

- 取組1 産業の新たな展開の推進
- 取組2 戦略的な観光の推進
- 取組3 経営力の高い農業の振興
- 取組4 魅力的な商業の振興
- 取組5 雇用環境の充実



# 活力みなぎる産業のまちを 目指します

## 現状と課題

我が国の経済は、平成20年のリーマン・ショックにより大きな影響を受けましたが、アベノミクスと呼ばれる国の経済政策などにより、平成27年4月に日経平均株価が2万円を超えるなど、大企業を中心に景気が改善しつつあります。一方では、TPP（環太平洋経済連携協定）への参加や、平成29年4月に予定される消費税の再引き上げなどによる経済への影響が懸念されています。

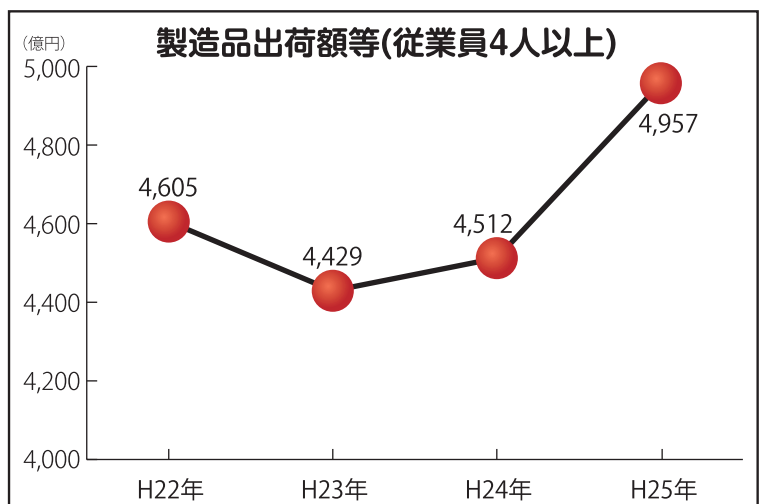
本市には、輸送用機械器具製造業の下請け企業が比較的多く立地することから、安定した雇用を創出し、地域経済に貢献する企業の誘致と、製造品等の販路開拓や新製品の開発など新たな展開を支援することが求められています。

また、遠州三山、ふくろい遠州の花火など、自然や歴史・文化などの地域資源を活かしながら、まちの魅力を高め、情報発信力の強化等により、戦略的に観光振興を推進していくことが求められています。

農業については、温室メロンやお茶など、全国に誇る農作物が生産されていますが、耕作放棄地の増加や生産者の高齢化等により農業産出額が減少しており、担い手の育成や農地の利用集積、農産物のブランド力の強化等により、経営力を高めることが必要となっています。

商業については、事業所数の減少、後継者不足、近隣市への郊外型大型店の出店等による買い物客の減少が課題となっており、魅力ある個店づくり、商店街のイベントや空き店舗の活用、情報発信の強化等により、市内全体の商業の魅力を向上させていくことが必要となっています。

雇用については、企業と学生のマッチング機会の提供や、市内企業への就職を促進するための情報発信などとともに、労働力人口の減少を見据えた中で、女性、高齢者の再就職や若年無業者の就労支援等に取り組んでいくことが必要となっています。



## 取組

### 取組1 産業の新たな展開の推進

- 1 新たな展開への支援
- 2 活力ある工業の振興
- 3 企業誘致の推進
- 4 人材育成と経営力向上の支援

### 取組2 戦略的な観光の推進

- 1 袋井ブランドの創出
- 2 マーケティングの推進
- 3 担い手の充実と育成
- 4 おもてなしの充実
- 5 戦略的な商品販売の支援

### 取組3 経営力の高い農業の振興

- 1 次代の担い手育成の推進
- 2 農地の適正利用と基盤整備
- 3 農産物の高付加価値化と販路拡大
- 4 安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進
- 5 農地の多面的機能の維持
- 6 農資源のさらなる有効活用

### 取組4 魅力的な商業の振興

- 1 商業者等の経営体質の強化
- 2 魅力ある個店づくりの推進
- 3 商店街活性化に向けた取組の推進
- 4 消費者トラブルの解決と防止のための啓発の推進

### 取組5 雇用環境の充実

- 1 雇用の安定と促進
- 2 就労支援の推進
- 3 勤労者福祉の充実

## 指標

指標名	現状値 H26年度	目標値 H32年度
製造品出荷額等（従業員4人以上）	4,957 億円／年（H25）	5,500 億円／年
観光交流客数	4,232 千人／年	4,750 千人／年
主要農産物産出額	77.6 億円／年	75.3 億円／年

## 取組 1 産業の新たな展開の推進

### 目的

企業の新たな展開を支援するとともに、地域経済を支える企業の誘致を推進します。

### 現状と課題

人口減少に伴う国内需要の低迷や、新興国など旺盛な海外需要を背景に、輸送用機械器具製造業を中心に企業の生産拠点の海外移転が進んでいます。

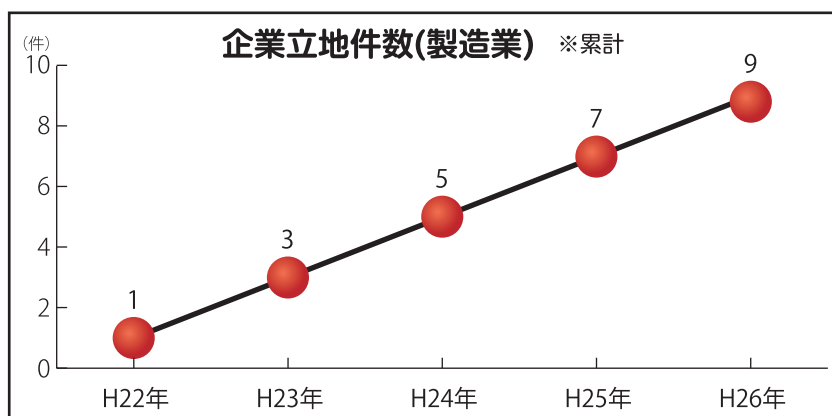


また、東日本大震災以降、南海トラフの巨大地震や津波等の災害、浜岡原子力発電所への不安などもあり、近年、静岡県の企業立地は厳しい状況が続いています。

こうした中、アベノミクスによる大胆な金融緩和政策等により円安が進むとともに、昨今の原油安なども加わり、緩やかではありますが、一部の企業で国内への生産回帰の動きが出てきています。しかし、市内に多く立地している中小企業にはその効果が波及していない状況です。

そのため、企業の持続的な成長を促す市内企業の新技術・新製品の開発支援や販路開拓支援、地域経済に活力をもたらす企業誘致の推進、地域産業に貢献する人材の育成を図るべく静岡理科大学や商工団体等との連携が求められています。

また、本市の交通アクセスの優位性など立地特性を活かした物流業や食料品製造業などの支援を図るとともに、今後の成長が見込まれる健康、医療、教育、新エネルギー、ICT産業などの次世代産業の誘致や創出、育成を図ることが求められています。



# ■ 基本方針

## (1) 新たな展開への支援

企業と大学、産業支援機関等との交流を推進し、事業連携や共同研究等を支援します。また、産学官金が一体となって、健康や医療、ICT産業などの次世代産業の誘致・創出や、広域的な連携も含めた企業の販路開拓、新製品の開発など新たな展開を支援します。

主な事業 産学官連携推進事業、中小企業販路開拓支援事業

## (2) 活力ある工業の振興

市内企業の支援を行うとともに、創業や第二創業（※）など、新たな「ものづくり」に挑戦する企業を応援し、活力ある工業のさらなる振興に努めます。

主な事業 中小企業販路開拓支援事業、創業支援事業

## (3) 企業誘致の推進

交通アクセス等を活かした企業用地を創出するとともに、民間遊休地の情報提供や企業立地促進助成制度の充実などに努め、企業の誘致及び立地支援を積極的に推進します。

主な事業 企業立地促進助成事業、工業用地開発事業（小笠山麓・豊沢地区等）、内陸のフロンティアを拓く取組推進事業

## (4) 人材育成と経営力向上の支援

産学官が連携して市内企業の持続的な経営に必要な人材育成を支援するとともに、県や商工団体、金融機関等と連携して中小企業の経営基盤安定のための支援を行います。

主な事業 産学官連携推進事業、経営安定化資金利子補給事業

※第二創業…既に何らかの事業を行っている事業者が、業態の転換や新事業・新分野に進出すること。

# ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>●就業者として、資質の向上や技術力の向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな研究や開発、人材育成などに努め、経営力の向上を図ります。</li> <li>●企業が持つ技術力などをPRする情報発信力を高めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産学官金の連携強化などにより、市内企業の育成、支援に努めます。</li> <li>●地域経済を支える企業の誘致と経営を担う人材育成の支援に努めます。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●袋井市工業振興計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●袋井市都市計画マスタープラン</li> </ul>
-------------	--	---

## 取組2 戦略的な観光の推進

### 目的

まちの魅力アップと情報発信に努め、観光交流客を増やします。

### 現状と課題

我が国は、本格的な人口減少社会を迎え、地域経済活性化のため、観光に力を入れる地方都市が増えています。また近年は、中国をはじめ訪日客が増えており、国は主要政策として外国人観光客の誘致（インバウンド観光）に取り組んでいます。



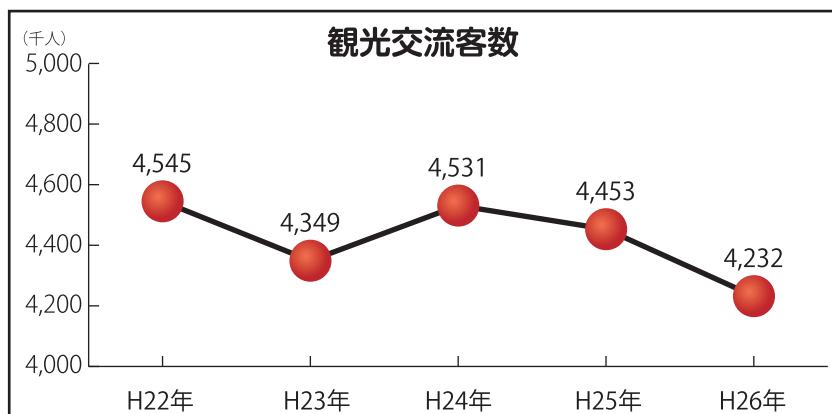
静岡県においても、富士山の世界文化遺産登録などを契機に、富士山静岡空港の利便性を活かし、国内外からの観光交流客の拡大を図っています。

本市では、豊かな自然や歴史・文化など固有の資源を活かした観光振興を進めており、観光交流客の約8割が遠州三山、ふくろい遠州の花火、小笠山総合運動公園エコパへ訪れています。

本市を訪れる観光客の多くは「安く、近く、短期間、少人数で」といった傾向が強く、今後は、少しでも長く市内にとどまってもらうことにより、経済波及効果を高めていく仕掛けが必要です。

そのため、観光協会など関係団体等との連携を強化し、ブランド力や情報発信力を高めるなど、戦略的な観光振興が求められています。

また、小笠山総合運動公園エコパが試合会場の一つとなるラグビーワールドカップ2019に向け、インバウンド観光を進めていく必要があります。



## 基本方針

### (1) 袋井ブランドの創出

地域資源を掘り起こし、磨き上げ、組み合わせることで、交流客のニーズを満たす多彩な観光商品を創造し、魅力アップを図ります。

主な事業 袋井観光ブランド推進事業、遠州三山等魅力創設事業

### (2) マーケティングの推進

情報収集力と発信力を強化し、市の認知度を高め、誘客促進を図るとともに、インバウンド観光にも積極的に取り組みます。

主な事業 観光案内所運営事業、広域連携観光推進事業、インバウンド観光推進事業

### (3) 担い手の充実と育成

市民一人ひとりが地域の魅力を理解し“観光大使”として、来訪者をおもてなしすることができるよう、個人レベルでの情報発信を強化するなど担い手の充実と育成を図ります。

主な事業 健康文化観光担い手育成事業

### (4) おもてなしの充実

観光交流客を獲得するため、ユニバーサルデザイン化の促進やおもてなしの心の醸成などにより環境を整えます。

主な事業 観光施設整備事業、観光ボランティアガイド事業

### (5) 戦略的な商品販売の支援

観光の効果を地域経済へとつなげるため、農商工連携の強化や効果的な商品販売の仕組みづくり、特産品開発など、販売促進に向けた取組を支援します。

主な事業 特産品開発支援事業

## 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民自らが地域の魅力を理解し、観光大使となって情報発信するよう努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の観光資源の掘り起こしや維持管理を積極的に行うよう努めます。</li> <li>●産業観光や各種イベント等での連携強化に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光イベント等への各種団体の参画を呼びかけます。</li> <li>●観光商品の開発に取り組む事業者等を支援します。</li> </ul>

#### 関連計画

●袋井市観光基本計画

## 取組3 経営力の高い農業の振興

### 目的

消費者に選ばれる安全で質の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します。

### 現状と課題

新興国の人口増加や経済発展などにより、農産物の国際的な需要は今後さらに高まることが予想される一方、我が国の食料自給率は低迷し続け、TPP（環太平洋経済連携協定）への参加に伴う、農業をはじめとした国内産業への影響が懸念されています。

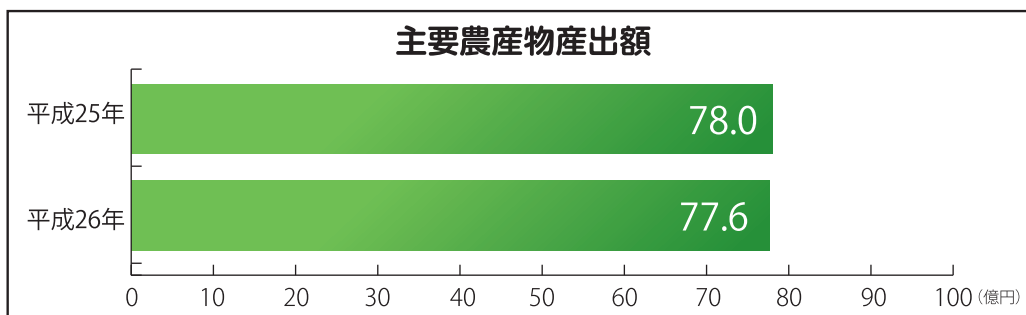


また、消費者が農産物等に求めるニーズは、低価格や安全性だけでなく、健康志向が高まるなど多様化しています。

本市では、温暖な気候等を活かし、3大基幹作物である「温室メロン、茶、米」を中心とする多彩な農産物を産出してきましたが、農産物の価格低迷と燃料の高騰などの生産コストの増加により農業の収益性が悪化し、農家数の減少や耕作放棄地の増加などが課題となっています。

安定的な農業生産を持続するためには、担い手の育成に加え、農地の利用集積のさらなる推進などにより経営効率を高めるとともに、消費者から信頼され、選ばれる産地となるよう、農産物のブランド力強化などにより付加価値を高めていく必要があります。

また、農地は多様な生物の生息や水源かん養、景観形成など多面的な機能があることから、地域と一体となって有効に活用していく必要があります。





# 基本方針

## (1) 次代の担い手育成の推進

儲かる農業の推進のため、ビジネス経営体の創出を支援するとともに、意欲と能力のある新たな担い手の育成と確保に努めます。

主な事業 担い手育成支援対策事業

## (2) 農地の適正利用と基盤整備

意欲と能力のある担い手への利用集積を推進するとともに、耕作放棄地の発生防止と再生利用を進めます。また、農業生産基盤の維持・更新を図ります。

主な事業 人・農地プラン推進事業、農業生産基盤整備事業

## (3) 農産物の高付加価値化と販路拡大

従来市場流通に加え多様な販売ルートの開拓や、日本の食材への関心が高まる海外市場への売込を推進します。

主な事業 6次産業化推進事業、海外輸出支援事業

## (4) 安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進

安全・安心を確保する生産体制を確立するとともに、環境保全型農業を推進します。また、学校給食等への地場産品の導入を促進します。

主な事業 安全・安心な農産物づくり事業

## (5) 農地の多面的機能の維持

農地の適正管理を行うとともに、農地の持つ優れた多面的機能を守るため、地域と一体になって農地の有効活用に取り組みます。

主な事業 多面的機能支払交付金事業

## (6) 農資源のさらなる有効活用

健康や福祉、教育、地域コミュニティなど様々な分野において農資源を活用し、農を活かしたまちづくりを推進します。

主な事業 市民農園整備・活用事業

# 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>●農地、農道、水路周辺の草刈りなどに協力します。</li> <li>●市内産農産物の購入に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●耕作放棄地の解消に向けた支援を行うよう努めます。</li> <li>●農資源を利用した地域おこしを推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者や農業法人など担い手の育成を推進します。</li> <li>●農地の集積や有効活用を促進します。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●袋井市農業振興ビジョン</li> <li>●袋井市農業振興地域整備計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●袋井市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想</li> <li>●袋井市鳥獣被害防止計画</li> </ul>
-------------	--	--

## 取組4 魅力的な商業の振興

### 目的

商店の個性ある魅力づくりや経営体質の向上を支援し、にぎわいあふれるまちづくりを推進します。

### 現状と課題

本市の商業施設は、袋井駅周辺地区、上山梨地区、愛野駅周辺地区、浅羽地区やインター通り沿線などに集積しています。市内の卸・小売業の売上高は平成23年で約2,355億円であり、平成21年から平成24年の間で事業所数は913事業所から811事業所へ、従業者数は7,624人から7,176人へとそれぞれ減少しています。

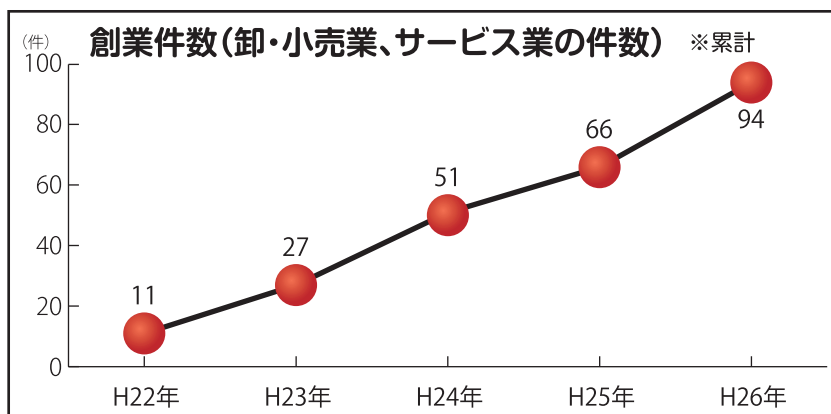


また、商店街などでは、店主の高齢化や後継者不足による空き店舗の増加に加え、主要幹線道路沿いや近隣市への郊外型大型店の出店等による買い物客の減少が課題となっています。

こうしたことから、まちのにぎわいを創出するため、商店街が開催するイベントや空き店舗を活用して開業した事業者などへ支援するとともに、個店の魅力を高め、その情報を発信していく必要があります。

一方、消費の拡大には、消費者トラブルを防止し、消費者の安全・安心を確保することが不可欠です。消費生活相談の件数は年々増加し、相談内容も複雑化、高度化しているのが現状です。

このため、相談体制の強化や出前講座などによる啓発活動を推進していく必要があります。



## ■ 基本方針

### (1) 事業者等の経営体質の強化

中小企業向け融資制度の活用を促進するとともに、袋井商工会議所と浅羽町商工会が行う経営相談や指導を充実し、事業者等の経営体質を強化します。

主な事業 融資制度事業、商工団体支援事業

### (2) 魅力ある個店づくりの推進

個店セミナーなどにより、個店の魅力を高めるとともに、広く情報発信します。

主な事業 個店魅力アップ事業

### (3) 商店街活性化に向けた取組の推進

商店街の活性化とまちのにぎわいを創出するため、イベント開催の支援や空き店舗対策を実施します。

主な事業 空き店舗対策事業、イベント支援事業、創業支援事業

### (4) 消費者トラブルの解決と防止のための啓発の推進

消費者の不安を解消するため相談事業を推進します。また、消費者トラブル防止のため、啓発事業に取り組みます。

主な事業 消費生活相談事業、啓発事業

## ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内商店を利用するよう努めます。</li> <li>●適切な判断ができる自立した消費者を目指し、自己啓発に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個店は、魅力に磨きをかけ情報発信に努めます。</li> <li>●地域の商店を応援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係機関と連携し、事業者への支援を行います。</li> <li>●消費生活センターを中心に、相談や啓発事業を行います。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	●袋井市都市計画マスタープラン
-------------	-----------------

## 取組5 雇用環境の充実

### 目的

地域経済と市民生活の基盤を確立するため、誰もが安心して働ける雇用環境を充実させます。

### 現状と課題

静岡県内の景気は、円安など企業の良好な経営環境の持続や株高などによる消費者マインドの持ち直しを背景に、企業の生産が増加するなど緩やかに回復し、ハローワーク磐田管内の有効求人倍率も徐々に改善が見られます。ただし、依然として、国や県の有効求人倍率を下回る状況が続いています。

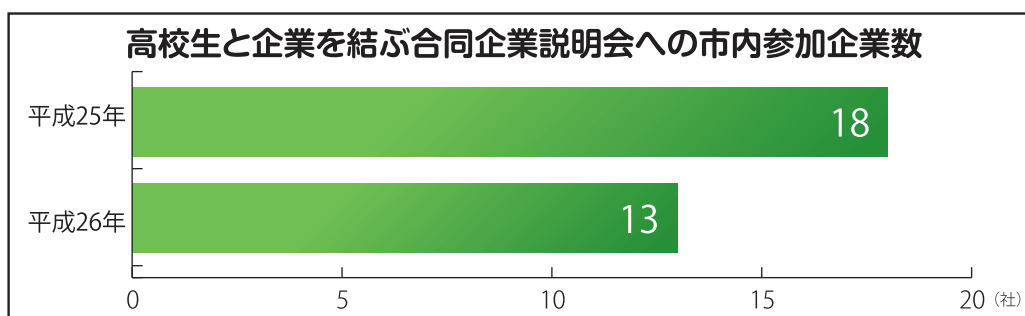


県内の障がい者雇用については、平成26年6月の民間企業の実雇用率が1.80%で、全国平均1.82%や法定雇用率2.00%を下回り、事業主の障がい者雇用に対する理解促進を図る必要があります。

また、近年、企業と学生の雇用のミスマッチや新規就業者の離職、若年無業者（※）の問題、非正規雇用労働者の割合の増加など、就労支援は重要な課題となっています。

さらに今後は、少子化により生産年齢人口の減少が急速に進み、企業の人手不足が深刻化していくことが予想されます。そのため、国や県をはじめ、商工団体や企業とも連携を強化し、雇用の安定を図るとともに、女性や高齢者の再就職支援、若年無業者への就労支援などを行うことが求められています。あわせて、働きやすい環境を整備するため、勤労者への福利厚生などを充実することも必要となっています。

※若年無業者…  
15～34歳の非  
労働力人口の  
うち、家事も  
通学もしてい  
ない者のこと。



## ■ 基本方針

### (1) 雇用の安定と促進

生産年齢人口の減少に対応するため、市内企業への就職を促進するための事業を実施するとともに、雇用の受け皿となる企業の育成や誘致を推進します。

主な事業 高校生と企業を結ぶ合同企業説明会開催事業、U・Iターン就職促進事業

### (2) 就労支援の推進

インターンシップの普及や女性、高齢者の再就職、若年無業者や障がい者の就労支援など、相談事業・支援体制を充実させます。

主な事業 インターンシップ普及事業、内職・職業相談事業

### (3) 勤労者福祉の充実

勤労者への融資制度による支援、遠州ライフサポートセンター・袋井市労働者福祉センター(サンライフ袋井)への運営支援など勤労者福祉の充実を図ります。

主な事業 勤労者住宅建設資金・教育資金利子補給金制度

## ■ 協働の考え方や役割

市 民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生と企業を結ぶ合同企業説明会への参加やインターンシップを活用します。</li> <li>● 勤労者向け融資制度や福利厚生事業を活用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性や高齢者が働きやすい環境整備や正規雇用化等に努めます。</li> <li>● 誰もが働きやすい職場環境の向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雇用に関する各種制度などの啓発・周知を図ります。</li> <li>● 雇用の受け皿となる企業の育成や誘致を推進します。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 袋井市工業振興計画</li> <li>● 袋井市障害者計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 袋井市男女共同参画推進プラン</li> </ul>
-------------	---	--

